

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育実践演習		
担当者(Instructors)	後藤 永子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
保育に関する科目として横断的な学習能力を習得する。既習の教科、必修科目及び選択必修科目の履修状況を踏まえ、自らの学びを振り返り、必要な知識・技能を習得したことを確認する。時代に即した保育に関する課題を共通の認識として学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テーマごとにグループでのディスカッション、ならびに指導案の作成と模擬保育から振り返りと考察を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンスとこれまでの学習の振り返り	保育実践演習の意義と自己課題を明確にする	☐
第2回	保育士の意義と役割(1)子どもとのかかわり	保育士として子どもとのかかわりについてのグループ討議と発表	☐
第3回	保育士の意義と役割(2)保護者との信頼性	保育士として保護者対応についてのグループ討議と発表	☐
第4回	保育士の意義と役割(3)地域の子育て支援	地域から期待される保育士についてのグループ討議と発表	☐
第5回	子ども理解を通して(1)発達保障の場としての保育園	子どもの発達保障の場の意味を確認し、グループ討議	☐
第6回	子ども理解を通して(2)子どもと保護者へのコミュニケーション	事例から学ぶ保育の現場、実践的な話から考察を深める	☐
第7回	保育士としての協働と同僚性(1)保育士間の人間関係	同僚とのコミュニケーションが保育の質に繋がる、グループ討議	☐
第8回	保育士としての協働と同僚性(2)保育の質を高める意義	先輩から学ぶ保育の現場、保育の質について考察を深める	☐
第9回	生活の場としての保育の現場	養護と教育の場であり、生活の場としての保育施設を考察する	☐
第10回	個と集団とは	個とのかかわりから集団を考える、クラス運営に繋げる、グループ討議	☐
第11回	保育士の倫理	全国保育士会倫理要綱について学ぶ	☐
第12回	保育をめぐる現状の課題	子どもと保護者の現状の問題点について学ぶ	☐
第13回	模擬保育(1)部分保育	お話しを中心に、絵本、ペープサート、パネルシアターからの考察	☐
第14回	模擬保育(2)主活動の指導案	表現活動を中心に、音楽活動、造形活動から考察を行う	☐
第15回	保育士へのスタートを目指して	自己課題の確認と保育士としての資質、能力、態度を習得する	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、現場実践を深めるサービス・ラーニング、教材研究は、ペープサートやパネルシアターの制作、指導案を立案し模擬保育の練習を行うために毎回2時間程度を課す。事後学習として、授業内のプリントや資料を参照に2時間程度でまとめる、または、指導案、教材研究に毎回2時間程度を課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
各回のグループ討議は、グループごとの発表により、共通理解に繋げる。模擬保育は、ディスカッションで意見を出し合い、より改善した指

導案や実技課題を見出していく。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	保育所保育指針に示されている保育士としての基本的な資質・能力・態度を身につけている。
	◇ 2018子ども発達DP3	保育の現場でのコミュニケーションと実践力、さらに現場の問題や課題に向き合う力が取得している。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で行う模擬保育とその指導案、ならびに教材制作

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	厚生労働省「保育所保育指針<平成29年告示>」フレーベル館	
2	随時プリントを配布	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介をする	
2		
3		
4		
5		